

SHINSHU JUNIOR COLLEGE NEWSPAPER

信州短大新聞

shin-tan

発行:平成24年3月15日
編集・発行:信州短期大学広報委員会
〒385-0022 佐久市岩村田2384
<http://www.shintan.ac.jp/>
印刷:(株)アオヤギ印刷

Vol. 44

CONTENTS

- P2 …1年間を振り返って／2年間を振り返って
- P3 …介護福祉学科実習ほか
- P4 …第24回信陽祭
- P5・6 …卒業生へ贈る言葉
- P7 …後期の授業から
- P8 …信陽会だより／卒業生の今
- P9 …卒業生の進路／就職活動開始
- P10 …学友会／トピックス

第24回
信陽祭開催!!

Hey和

～今こそ手を取り合うとき～



一年間を振り返って



学長 白井 汪芳

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震、また、翌日の長野県北部地震、松本の地震、タイの大洪水など昨年は今まで経験したことのない大規模な災害が続き多くの犠牲者を出した大変な年でした。東北地方の短期大学では学生の被災、建物の被害、卒業式・入学式の延期など災害の影響を受けま

した。幸いに本学では卒業式・入学式も平常通り行われ、「総合ビジネス学科」、「介護福祉学科」に元気澆刺な一年生諸君を迎え学園が新たな活動を始めて早くも一年がたちます。両学科共に順調に推移し3月15日の卒業式に向かって進んでおります。

総合ビジネス学科では従来から現代社会で求められている現場の声を絶えず聴き時代のニーズに合った教育を、また、介護福祉学科では国家試験がいつ始まってもしよう力ある人材育成を行っております。

昨年、リーマンショック以来経済状況は少し回復の兆しが見えてきた矢先の大震災や相次ぐ災害により、日本の経済状況は再び大変厳しい状況に陥っております。本学では以前から教職員が一体となって就職活動の支援を最重点に行っており、昨年も

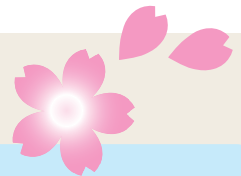
100%の就職率を達成し県内大学短期大学中1位を保っております。今年はさらに厳しい状況の中、すでに1月18日現在就職希望者の85.7%が内定し昨年を上回っております。

世界的にも超高齢化社会にある我が国において、介護福祉分野の需要は高まり介護福祉士はますます重要になってまいりました。本学では県内で最も先進的介護福祉士を養成するため、一昨年から福祉先進国デンマークから特任教授をお招きし、利用者にも介護者にも優しい北欧式介護技術を取り入れた教育をしております。また、この分野の日本の草分けで最も先進的施設をもつJA厚生連、JA長野会の施設長などの職員、介護福祉関係の高校の先生との懇談会を定期的に開催し、先進的介護福祉士の教育や福祉機器の共同開発について研究を始めました。

スポーツでは男子バレーボールが全国私立短期大学体育大会で12連覇を成し遂げ、男女バスケットボールが3位、本学が主管校として佐久市内で行われた長野県私立短期大学体育大会では男女バレーボール、男子バスケットボールが優勝、女子バスケットボール、女子バドミントンが3位と大活躍いたしました。

本学は、親切な教職員によるきめ細かい少人数教育によって実社会で働く総合的実践力を身につけさせ、将来活躍できる学生を責任もって育てております。学生、卒業生、ご父母の皆様には引き続き本学のためにご支援・ご協力をお願いいたします。

信短での2年間を振り返って



壬生朱音

(総合ビジネス学科2年)
株式会社イデアックス

信短での2年間は私にとって多くの事を経験でき、とても濃い時間でした。特に学友会企画委員長としての仕事では、開学祭の企画運営など大きなイベントを作り

上げるという面で大変なこともたくさんありました。でも、仲間と協力し合い達成感のあるものでした。あつという間の2年間でしたが、友人、先生に恵まれ、とても充実した短大生活を過ごすことができました。4月から社会人として、信短で学んだことを生かして、さらに成長できるよう頑張っていきたいです。



滝澤 駿

(総合ビジネス学科2年)
高崎経済大学地域政策学部

信短では、編入学のために参加したサブゼミナールや2年からの学友会活動で、とても楽しい学生生活を送ることができました。様々な活動に参加したことで、

人間としてちょっと成長できたと思います。また、先生や職員の方との距離が近く、様々な相談に乗ってもらいました。4月からは、県外で初めての一人暮らしが始まります。正直不安でいっぱいですが、短大で学んだことを生かして、新社会人になる仲間には負けないように大学生活を送りたいと思います。



福嶋 英莉

(介護福祉学科2年)
社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

短大で過ごした2年間は私にとって得るものが多く、充実したものでした。初めは介護の資格を取得する為に必要な授業の多さや学ばなければならないことの多

さに、全てを成し遂げることができるのかと、不安ばかりでした。しかし、授業や実習を一つひとつ行っていく中で、改めて介護のやりがいと楽しさを実感することができました。新しい先生や友達との出会いもあり、就職も無事に決まり、とても楽しい毎日でした。4月からは短大や実習先で学んだ事を生かして利用者さんの気持ちを常に考えられる介護福祉士になれるよう、頑張っていきたいです。



平川友里恵

(介護福祉学科2年)
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 長野県済生会

信短で学んだ2年間は、講義や実習で忙しく、時には時間に追われる日もありましたが、先生や友人達に支えられ、有意義な短大生活を過ごすことが出来ました。

特に実習では、技術や知識だけでなく、現場で働いていく上での社会勉強の場にもなりました。また信短では、福祉の本場であるデンマークの福祉を学ぶ機会もあり、様々な視点から知識を深めることが出来ました。多くの学びの上で、4月からは希望していた施設への就職が決まりました。社会人として、信短で学んだことを生かしながら日々努力し、介護福祉士として研鑽していきたいと思います。

介護福祉学科2年 事例研究発表会



12月17日(土)、介護福祉学科2年次生が事例研究発表会を行いました。

介護福祉学科では、2年間で計56日間の福祉施設実習を行います。実習の中で、学生は担当した利用者さんに対して介護計画を立案し実施します。実習終了後、その介護計画の立案過程や実施計画、課題等を事例研究としてまとめ発表を行います。一人7分の発表時間内で、相手にわかりやすく伝えられるようにまとめる力と表現力を養います。



市村 黄葉 (介護福祉学科2年)

テーマ●「Tさんに対する残存機能の低下予防を試みて」

事例研究発表会では、大切な情報を決められた時間内に収めるのが難しかったです。完成までは、先生方と相談しながら研究論文を作成していく事で、実習中の思いや考えを改めて学ぶ事ができました。多くの参考文献などを調べていく事で、より知識が深められ、その研究成果を皆の前で発表する事も貴重な体験でした。また、他の学生の事例研究を聞くことで、様々な考え方を学ぶ事ができました。この発表会で得た多くの学びを今後に生かしていきたいと思っています。



中倉 文香 (介護福祉学科2年)

テーマ●「生活背景を活かした認知症悪化予防に向けた支援
—看板作りを通して—」

事例研究の発表にあたり、実習内容を発表原稿にまとめることが難しく、時間内に収めることができるか心配でした。先生方と何度も練習を重ね、指導や助言をいただき、無事に発表会を終えることができました。事例研究発表会を通して、施設実習を振り返ることができ、論文の根拠をもとに論理的な内容としてまとめていくことの大切さ、難しさを学ぶことができました。多くの先生方にご協力をいただき、当日は納得のいく、いい発表をすることができました。

介護福祉学科 第一段階実習

11月15日(火)、本学2300教室にて介護福祉学科1年次生の立誓式が行われました。

立誓式の翌日から12日間、第一段階福祉施設実習を行います。この実習では、介護実践の現場で幅広く生きた体験学習ができるようにとの趣旨のもと、「知的障害者更生施設」「身体障害者療護施設」「重症心身障害児施設」「認知症グループホーム」の内、2施設で様々な介護サービスや介護職員の役割等を学びます(1クール6日間×2回)。

立誓式では、全員で「誓いの詞」を唱和し、実習に取り組む姿勢と介護福祉士となる自覚を決意します。



篠澤 美樹 (介護福祉学科1年)

実習先●グループホーム柳橋、緑の牧場学園

グループホームでの実習は、身体的な介護とあわせて精神的な介護が必要なことを学ぶことが出来ました。その中で、すべての利用者さんに同じ関わり方をするのではなく、利用者さんとコミュニケーションを図りながら、その人個々の状況を把握し、一人ひとりにあった介護をすることが必要であることを教わりました。



関 寛美 (介護福祉学科1年)

実習先●佐久こまば学園、立科町ハートフルケアたてしな

グループホームでの実習では、コミュニケーションを図ることが主な実習内容でした。授業で学んだ認知症の症状を実際に目の当りにして、正直驚きと戸惑いを感じました。介助では、上手いかわからないこともありましたが、施設の職員の皆さんにご指導いただき、多くの体験と学びを得ることができました。

SHINSHU JUNIOR COLLEGE 2011 後期キャンパスライフ	10 October	14日(金) ○介護2年第3段階施設実習終了 22日(土)~23日(日) ○第24回信陽祭(大学祭)	11 November	15日(火) ○介護1年立誓式 16日(水)~12月2日(金) ○介護1年第1段階施設実習	
	12 December	1日(木) ○クリスマスイルミネーション点灯式 13日(火) ○学生会長選挙立会演説会・投票 (15日まで) 14日(水) ○クリスマスイベント 23日(金)~2012年1月9日(月) ○冬期休業 27日(火) ○1年進路相談会	2012 1 January	31日(火) ○後期授業終了	3 March
		2 February	1日(水) ○総合ビジネス学科春期休業 1日(水)~8日(水) ○介護福祉学科後期試験 1日(水)~3日(金) ○スキー・スノーボード実習	9日(木) ○介護福祉学科春期休業 15日(水) ○介護2年卒業時共通試験 17日(金) ○卒業単位発表	29日(水) ○卒業発表

第24回

信陽祭

SHINYO FESTIVAL

Hey和 ~今こそ手を取り合うとき~

10月22日(土)・23(日)、佐久大学との共催で大学祭が開催されました。今年も模擬店やステージ発表、ゼミやサークルでの展示など、盛りだくさんでした。



■信陽祭実行委員長
市川 健太
総合ビジネス学科2年

今回の大学祭のテーマは、「Hey和~今こそ手を取り合うとき~」で、スタッフ、学生、先生方、そして協賛して下さった企業の方々、地域の方々と共に創りあげることができました。私自身、このような実行委員長という立場にとまどい、日々葛藤していました。しかし、スタッフや学生、先生方の協力もあり、大成功させることができました。ふがいない実行委員長でありましたが、今回の大学祭に協力して下さった皆様に、心より御礼申し上げます。

第24回信陽祭・第4回秋桜祭での収益の一部を東日本大震災・長野県北部地震の復興支援として、日本赤十字社東日本大震災義援金・長野県栄村震災義援金に177,051円を送らせていただきました。皆様に御協力いただき心より感謝申し上げます。



■模擬店(介護2年)
武重裕美子
介護福祉学科2年

介護福祉学科2年は、肉、野菜が盛り沢山の「豚汁」と具に趣向を凝らした「おにぎり」を販売しました。実習終了直後で限られた時間の中、皆で一致団結して取り組み、楽しく想い出深い大学祭となりました。2日間とも大好評の内に、早々に完売となりました。



■展示(華道サークル)
塩川 楓
総合ビジネス学科2年

華道サークルでは、華道展を行いました。一人ひとりが様々な種類の花を生け、素晴らしい作品ができました。準備は大変でしたが、一つの作品が完成した時はすごく嬉しかったです。見に来てくださった皆さん、ありがとうございました。後輩たちには次回も頑張ってもらいたいです。



■発表(軽音サークル)
野村 和成
総合ビジネス学科2年

軽音サークルは、練習の成果をライブで発表しました。今年は今までは異なり屋内での発表でしたが、例年通り盛り上がることができました。特に後夜祭では、暗い中で豪華なライトアップが映え、演奏側の僕たちもとても楽しかったです。



■発表(手話パフォーマンス)
市川 五月
介護福祉学科2年

介護1・2年生合同で手話パフォーマンスを発表しました。自分たちで手話の振り付けを考え、一生懸命練習しました。本番では緊張しましたが、無事発表を終えた時には達成感や一体感をみんなと一緒に味わうことが出来ました。1年生ともとても良い関係作りができたように感じます。



フードサービス論

後期の
授業から

食品業界のなりたちとしくみ、食品をめぐる近年の諸課題とそれに対する方策などを中心に、食品業界に関する知識を深めます。



小林 亜由美 (総合ビジネス学科 2年)

日本の食糧自給率について年度ごとに分析したり、TPP問題の賛成論と反対論の意見をまとめて考えたり、外食産業について店舗のレイアウトを書き出してみたりと、食品業界について学びました。また、定番や期間限定物のお菓子のセールスポイントやパッケージなどを分析したり、実際に皆で飲食店のマーケティングをしたりと、色々と学べてよかったです。



社会福祉実習

訪問介護員 2 級に必要な心構えや態度、技術、利用者主体の考え等を学びます。4 日間の実習では介護援助の実際について学びます。



塚田 里紗 (総合ビジネス学科 2年)

福祉施設での職員の方がどのように働いているのかをDVDを見てわかりやすく学びました。夏休みには実技の授業を行いました。実習でできることは数少なかったですが、学んだことを生かすことができました。また利用者さんと会話をして、人生の先輩として勉強になることもあり、そして何より元気をもらうことができました。短い期間でしたが、実習で学んだことは、これから社会に出て生かしていきたいです。



アウトドアスポーツ

■スキースノーボード実習

軽井沢プリンスホテルスキー場において、3 日間のスキー実習を行います。レベルに合わせた段階的なレッスンにより技術の向上を目指します。



櫻井 直仁 (総合ビジネス学科 1年)

事前学習でスキー場でのマナーや応急処置などを学んでから実習を行いました。実習ではスキーの基礎的な滑り方であるサイドスリップという技から教わり、最終的にはS字ターンが出来るまで、個人のレベルに合わせて教えていただきました。冬季限定のスポーツなので、なかなか行うことのできないスポーツを体験することができ、とても楽しかったです。



認知症の理解と介護

認知症に対する基礎的な知識を学んだ上で、「その人を中心においたケア」の提供にむけた介護技術・高齢者理解ができるよう学びます。



高浪 莉加 (介護福祉学科 1年)

認知症の特徴的な症状や認知症の方へのケアの方法について学習しました。認知症の方の言動に対して否定せず共感することや、一人ひとりの症状にあわせた介護をすることの必要性を学びました。第1段階実習ではグループホームに行かせていただき、実際に認知症の方と関わる機会があったので、授業で学んだことが役に立ちました。今後の実習や施設への就職後も学んだことをいかしたいと思いました。



生活支援技術基礎編

家事の基本的な生活支援(食生活、被服衛生管理、裁縫など)を学び、あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を学びます。



磯尾 友希 (介護福祉学科 1年)

この授業では主に食事、裁縫、洗濯について学びました。食事については、自分がなげなく食していたものについて新たに知ることがあり、これまでの生活を見直すきっかけにもなりました。調理実習の時間は色々な料理を作ることができて楽しく、また実際に行うことで理解を深めることができました。これからのためにも生活についての知識を身につけていかなければならないと思いました。



組織管理論

福祉先進国であるデンマークと日本を主に社会福祉の視点から比較検討し、考え方の違い、しくみの違い、社会(組織)と個の関り方を学びます。



高橋 弘美 (介護福祉学科 2年)

ブンゴード孝子先生の授業では、日本とデンマークとの医療や福祉の違いについて学びました。特にデンマークでは高齢者福祉や子育て支援に力を入れ、家庭の負担を軽減し、女性が働きやすい環境であることが分かりました。また北欧式トランスファーや色々な福祉用具を実際に使用し、体験することができました。色々な角度から介護を捉えることによりさらに深く介護について考え、学ぶことができました。



◆平成23年度 信陽会総会終わる

去る平成23年10月22日(土)午後4時半より、信州短期大学4号館4103講義室にて、平成23年度総会が開催されました。当日は懐かしい先生方を来賓にお迎えし、卒業生約20名が参加しました。今年度の総会では、次の議案が審議・承認されました。

- ① 平成22年度事業報告および収支決算報告
- ② 平成23年度事業計画および収支予算案
- ③ 本会の名称について
- ④ 会則の一部改正について
- ⑤ 役員を選任について

また、総会終了後に開催された懇親会では、参加者は近況報告を行うなど、終始和やかな雰囲気の中、親睦を深めることができました。

次年度も同時期(信陽祭期間中の土曜日)に開催を予定してまいりますので、より多くの卒業生の皆さんの参加をお願いいたします。



◆本会名称の表記について

※信陽会だよりに関するご意見・ご要望等ありましたら、信州短期大学内信陽会事務局までお願いいたします。

平成24年度より信州短期大学が佐久大学信州短期大学部へと校名変更されることに伴い、今後は本会名称の表記は「信陽会」のみといたします。

◆会則の一部改正決まる

平成23年度総会において、会則の一部改正が行われました。主な改正箇所は、第4章「役員」と第5章「機関」で従来の評議員は置かないこととし、評議員会と正副会長会は廃止することになりました。

◆信陽会新役員決まる

任期満了に伴う役員を選任が、平成23年度総会において行われました。新役員の任期は、平成27年9月30日までの4年間。

- 会長／市川洋治(1回卒)
副会長／中嶋靖子(2回卒)
理事／荒井伸一(1回卒)
理事／上野聡志、志鷹憲(3回卒)
理事／羽毛田幸博(6回卒)
理事／達山佳代、住吉治(4回卒)
理事／佐藤正樹(7回卒)
理事／青柳貴彦、小口訓亮(8回卒)
理事／溝口剛司(11回卒)
理事／寺島宏樹(12回卒)
理事／福澤昭則(13回卒)
理事／上野創(17回卒)
理事／柳澤年輝(19回卒)
理事／岡元彩乃、高地富大(20回卒)
理事／安井泰則(22回卒)
理事／長田昌美(1回卒)
理事／仁科愛知(3回卒)

NOW.

卒業生の今 —— シリーズ⑩

松井由貴美さん

【第19期生】

今回は、2012ミス・ユニバース・ジャパン長野県代表になり、ファイナリスト24名の一人に選ばれた松井由貴美さんをご紹介します。4月には大阪国際会議場で2012ミス・ユニバース最終選考会が開催されます。最終選考会を前にインタビューをしました。



▼今回、2012ミス・ユニバース・ジャパン長野県代表に選ばれた感想は？

選ばれたときは、正直驚きました。また、自分を支え応援してくれた家族や友人に感謝しています。現在、内面を磨くトレーニング(講義など)を受けており、だんだん自覚が出てきました。自分がどのように成長していくのが楽しみです。

▼モデルを短大時代から続けてきて、一番の原動力になっていることは何ですか？

まわりの人の支えです。事務所のバックアップ、プロモーションはもちろんのこと、家族や友人の応援が私の力となり、頑張るといふ気持ちにしてくれます。

▼モデルをやっている、大変な点、辛いことは？

逆に楽しいことや、やっているとよかつたこと思っています。

どんなことでもそうだと思いますが、厳しい世界なので、自覚を持ち、自分をしっかり持たないとけません。このような気持ちを維持していくことは大変です。自分のカラーを持っていると考えや行動がぶれないと思います。自分らしさを忘れないことが大切です。

嬉しいことは、家族が会場に見に来て、

喜んでくれることです。また、今は、ステージに立つていくことがとても楽しく感じます。

▼信州短期大学で学んだことで、役に立っていることは？

一つは、バレーボールで培った気持ちのコントロール方法です。いつも試合前はプレッシャーに負けないように、深呼吸や軽く身体を動かしていました。今はステージ前に実践し、落ちついてステージに立つことができている。もう一つは、マナーです。いろいろな業界の方、年齢層の方とお会いすることが多いため、挨拶と言葉遣いは勉強しておいてよかったです。

▼在生に向けてメッセージをいただけますか。

将来、どういう自分になりたいか、それになるためには、何が必要なのかを考えて、やりたい自分を想像し努力をしてみてください。やりたいことは、後悔するより、絶対やった方がいいと思います。今の若者に求められていることはチャレンジすることだと思います。そして、皆の感謝の気持ちを持つことを何よりも大切にしてほしい。

▼最後に、これからの目標・夢を教えてください。

ミス・ユニバースになること。(目標は高く)ミス・ユニバースは外見だけでなく、内面も見られます。これから、やるべきことをしっかり考えて、一つ一つクリアしていきたいと思えます。

就職内定企業

(株)コミヤマ/(株)タケイ/(株)ライトオン/越後さんとう農業協同組合/(株)デンセン/長野県連合青果(株)/(株)飯島商店/三力信和水産(株)/(株)竹風堂/(株)アメニティーズ/中野市農業協同組合/(株)丸信製作所/(株)アツマ/(有)山水観湯川荘/KYB-YS(株)/ミヤモリ(株)/(株)イイダアックス/(株)長野三洋化成/(株)丸水長野県水/(財)長野県農協共済福祉事業団/(株)ハウステック/齋藤木材工業(株)/(株)ワールド/信州中山晋平銘菓処和菓子しおざき/佐久広域連合消防本部/(福)みまき福祉会/エフビー介護サービス(株)/(医)柳泉会メディトピア小諸/(福)上田しいのみ会/(医)慈泉会相澤病院/(医)みゆき会/(福)ジェイエー長野会ローマンうえだ

/(福)横浜社会福祉協会千曲園/(福)ハインスライフ/(福)御代田町社会福祉協議会/長野県厚生連長野松代総合病院附属若穂病院/(福)横浜社会福祉協会佐久療護園/(福)大樹会ベルポートまるこ/依田窪老人保健施設いこい/(福)長野県済生会/(独)国立病院機構小諸高原病院/(福)小諸学舎/ハートフルケアたてしな/長野県厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/長野県厚生連富士見高原病院/(医)慈修会介護老人保健施設ほのぼの/長野県厚生連佐久総合病院/(医)恵仁会/(福)からし種の会

進学

高崎経済大学地域政策学部/長野県公衆衛生専門学校

合同企業説明会に参加して



1年次生 本格的に就職活動スタート!!

12月下旬、1年次生の就職活動が本格的にスタートしました。長野市のホテルを会場にした合同企業説明会では、本学からも多くの学生が参加しました。緊張と不安の中、興味のある企業を回って熱心に説明を聞いていました。



木下 直哉
(総合ビジネス学科1年)

今回の合同説明会では、広く社会のことを知ろうと考え、色々な企業の話をお聞きしました。どの企業もコミュニケーション能力を重視していたので、しっかりと身につけていきたいです。



村田 利也
(総合ビジネス学科1年)

製造職を希望していますが、今回の説明会では営業職にも興味を向けて聞いてみました。話を聞いてみて製造職だけにしぼらず、職種を広げて考えていきたいと思いました。



中島 貴子
(総合ビジネス学科1年)

事務職と製造職を中心に、5社のブースへ行きました。事前の企業研究では知ることができなかった企業の活動を聞くことができ、とても勉強になりました。



吉澤 望
(総合ビジネス学科1年)

私は事務職を希望しています。企業が重視している協調性やコミュニケーション能力のほかにも、ビジネスマナーや資格取得にも力をいれたいと思います。



脇田 真帆
(総合ビジネス学科1年)

事務職を中心に話を聞きました。様々な企業ブースを訪問し、コミュニケーション能力の重要性を学ぶことができました。今後の就職活動に生かしていきたいです。

4 April

- 2日(月) 入学式
- 4日(水)~5日(木) 新入生オリエンテーション
- 6日(金)2年生ガイダンス
- 4日(水)~6日(金) 健康診断
- 9日(月) 前期授業開始
- 16日(月) 前期履修届締切

5 May

- 15日(火) 開学祭
- 17日(木) 開学記念日
- 18日(金)~6月15日(金) 介護2年第2段階施設実習

7 July

- 2日(月)~20日(金) 介護2年居宅介護実習
- 27日(金) 前期授業終了
- 28日(土)~9月20日(木) 総合ビジネス学科夏期休業
- 30日(月)~8月3日(金) 介護福祉学科前期試験

8 August

- 4日(土)~9月20日(木) 介護福祉学科夏期休業
- 6日(月)~9日(木) 全国私立短期大学体育大会

9 September

- 10日(金)~10月12日(金) 介護2年第3段階施設実習
- 21日(金) 後期ガイダンス
- 24日(月) 後期授業開始

2012年 前期行事カレンダー

第25期学友会執行部始動

■学友会執行部引継ぎ

2月28日、前学友会執行部からの引継ぎを行いました。今期の役員選出や活動計画の策定等、第25期学友会執行部が活動を開始しました。

■学友会執行部メンバー

学友会長：橋本拓也
副会長：鈴木棕司・行田舞菜
書記：水端祐香・高沢翼
会計：脇田真帆・小林菜穂



第25期 学友会長

橋本 拓也

(介護福祉学科1年)

任期中の抱負は、学生生活をより明るく楽しいものにすることと、後悔のないものにすることです。そのためにも、まずは明るい挨拶からはじめたいです。他にも、一番の大学行事の大学祭は、先輩方が今まで作り上げてきた伝統を重んじつつ、それを超えられるような大学祭を、皆さんと作り上げたいと思っています。まだまだ頼りないとは思いますが、精一杯頑張っていきます。どうぞよろしくをお願いします。

副会長

鈴木 棕司

(総合ビジネス学科1年)

残り一年という時間を一つひとつ大切に過ごし、皆さんと楽しい時間を共有できたらよいと思います。大学祭などの行事を成功させるためにも、ご協力をお願いします。

副会長

行田 舞菜

(総合ビジネス学科1年)

学校生活を送る上で、今までよりさらに充実して過ごしていただくために、学友会役員をはじめ、皆さんと協力してより良いものにしていきたいと思っています。

看護学部の先生による 交流授業が行われました。

shin-tan トピックス

2013年度 学校案内の撮影が行われました。



エンゼルメイク



フットケア

エンゼルメイク(2月27日実施)とフットケア(2月28日実施)の講習会が、看護学部との交流授業として行われ、介護福祉学科2年生が参加をしました。講師は、佐久大学看護学部の三石清子先生です。

この講習は相手を思いやる「心」がとても大切になります。介護従事者として社会に旅立つ2年生にとって、とても勉強になる講習会でした。

●エンゼルメイクとは

一般に「死化粧」と呼ばれるもので、故人を美しく着飾るお化粧ではなく、最期の姿にふさわしいように手助けをする化粧のことです。メイクをすることで生前のその人に戻っていただき、それによってご遺族の心のケアにもつながります。

●フットケアとは

ただ足を綺麗にするということだけではなく、自分らしく生きるために重要な役割をしている「足」に触れることで、その人の「心」に触れ、その人らしさを支えるケアです。



2月18日(土)に2013年度学校案内の写真撮影が行われました。今回の撮影は2年次生3名、1年次生9名の学生に協力いただきました。信州短期大学は4月より、佐久大学信州短期大学部 介護福祉学科と校名が改まり、看護・保健・福祉の学校としてスタートします。多くの後輩に興味を持っていただき、入学してほしいという気持ちで学生たちは撮影に取り組みました。この学校案内は5月中旬頃に完成予定です。お楽しみに!



メイクアップ講習会開催!

毎年、就職活動が本格化する前に、メイクアップ講習会が行われます。今年も総合ビジネス学科、介護福祉学科の学生がメイクアップ講習会に参加しました。当日は、資生堂の方が丁寧に化粧の仕方を指導してくださいました。学生も真剣に聞いていました。



クリスマスイルミネーション

今年も Christmas illumination が大学を輝かせました。毎年恒例となっており、大学入口のモニュメントを中心に飾り付けられました。

12月14日(水)には、佐久大学と合同でクリスマスパーティーも行われました。学生の皆さんのところには、サンタクロースは来たのでしょうか。

信州短期大学紀要 第23巻発行

本学紀要23巻が発刊になります。ご入用の方は、図書館までご連絡ください。



「生かされた者として、顔を上げ常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、生きていかねばなりません。命の重さを知るには、大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの、私たちの使命です。わたしたちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしようとしても、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。」引用が長くなりませんが、卒業生はもとより、誰もがこのメッセージを正面から受けとめたいものです。

(竹下良太郎)